

地域によって特徴や役割について違いが見られたが、地域による上記の違いには特に意味はないと分かった。

(2) 考察

仮説1の結果について、約420年前の安土・桃山時代が牛鬼の起源とされており、仮説の通り、争いなどで敵を脅かしたり威嚇したりするために使用されていた。それが今日まで継承されてきたのは牛鬼が今や「脅かす」や「威嚇」のためでなく邪悪なものを追い払うなどの縁起の良いものとなったためである。南予のほとんどで残っている牛鬼を私たちは古人がしてきたように継承していく必要がある。現在では南予のみで盛んな牛鬼だが、全国にこの歴史の素晴らしさを広めていき牛鬼に対する興味関心をさらにたくさんの人々に持ってもらうように努力すべきなのであると考える。

仮説2の結果を踏まえて牛鬼の地域による違いについて私たちは、その違いに何か意味や理由があって異なっているものだと思って研究を進めてきた。しかし、図書館やコンピュータを使ってきたがそのような事実を見つけることはできなかった。そこで私たちは宇和島牛鬼保存会会長と牛鬼について対談を計画し、11月下旬に話を聞きに行った。そこで、テーマにもなっている牛鬼の「地域による違い」について質問をしたところ、意味や理由はないと告げられた。しかし、実際に愛南町と宇和島の牛鬼の表情や容姿、掛け声などには違いがある。本当は今大人でさえ知らないほど昔から牛鬼が存在しているので、現代人が知らない原因があって、それぞれの独自性が確立されたのではないかと考えた。

5 まとめと今後の課題

私たちの最大の目的であった牛鬼の地域による違いについては残念ながら思うような結果にはたどり着けなかった。しかし、私たちは理由もなくその形態が異なる訳はないと考えている。今後とも研究を進めていきたいと考えている。

私達の今後の課題としては、まず今ある牛鬼を後世に伝えなければならない。そのために今私達が出来ただけ祭りに積極的に参加したり、牛鬼についての知識を深めることに努めていきたい。

6 参考文献

- ・牛鬼の私的考察「牛鬼のいる風景」
<http://tack7.fc2web.com/usionifuukei/usionikousatu.html>
- ・宇和島市役所牛鬼保存会
<http://www.chiiki-dukuri-hyakka.or.jp/cgi-bin/profile/data.cgi?number=4770>
- ・47道府県行事辞典
- ・伝統行事百科
- ・郷土資料